

(5) 教師から見た生徒の生活態度

- ア 休憩時間などにのびのびと遊ぶ生徒の数が
- イ 生き生きと諸活動に取り組む生徒の数が
- ウ 生徒相互に助け合って活動する生徒の数が
- エ 集団生活に必要なきまりを守る生徒の数が
- オ 一つのこと集中したりねばり強く努力する生徒の数が
- カ 上級生と下級生との親密の度合いが

	-2	-1	0	+1	+2
ア	2	5	48	39	4
イ	3	5	60	28	0
ウ	2	5	60	24	0
エ	2	21	55	17	0
オ	1	22	67	6	0
カ	1	9	73	14	0

問5 「創意を生かした教育活動の時間」について、次の(1)、(2)に回答してください。

(1) この時間の効果について、次により最も近いものを選んで下さい。 N=100(100%)

- ア 生徒に多様な経験をさせることができる。
- イ 教科の学習では求めにくいものが得られる。
- ウ 生徒の所属意識、連帯意識が強くなる。
- エ 生徒の個性や能力・適性を発揮させることができる。
- オ その他

	-2	-1	0	+1	+2
ア	2	3	39	50	2
イ	1	2	43	52	2
ウ	1	2	60	32	0
エ	1	2	56	35	0
オ	0	0	0	0	0

(2) この時間の運用上の問題点と考えられるものを2つ選ぶ。

N=100(200%)

- ア 教師に意識の高まりが見られない。 22
- イ 教師どうしの共通理解を得るのに時間がかかる。 33
- ウ 施設設備に制約があって運用が難しい。 55
- エ 必要な予算の確保が難しい。 4
- オ 計画や準備などのために教師の負担が増加した。 77
- カ 保護者の理解が得られない。 2
- キ その他 0

問6 教育課程の評価について、次の(1)~(3)に回答して下さい。

(1) 教育課程の評価の必要性について、あなたの考えに最も近いものを1つ選ぶ。 N=100(100%)

- ア 学習指導法の改善に資するために必要である。 30
- イ 地域や学校・生徒の実態に応じた教育課程に改善するために必要。 28
- ウ 次年度の教育課程編成の資料を得るために必要である。 18

- エ 生徒の変容を測定するために必要である。 17
- オ 評価などは必要としない。 2
- カ その他 2

(2) あなたの教育課程の評価の実際について、1つ選ぶ。

- ア 学期毎に評価を行い、改善に役立てている。 36
- イ 学期毎に評価はするが、どちらかというとそのままである。 27
- ウ 週案による進度の管理にとどまっている。 24
- エ 週案による時数の管理にとどまっている。 10
- オ 評価など行ったことがない。 0
- カ その他 2

(3) 教育課程の評価を行う場合、数量化・計測化できるような観点を設定することについて、どう考えますか。次の中から最も近いものを1つ選ぶ。

- ア 主観的、印象的な評価よりも、明確に達成度が把握できる。 28
- イ 数量的な明確な尺度となるので、達成への意欲づけができる。 27
- ウ 次年度への反省の手がかりが容易につかめる。 18
- エ 個々の生徒を直接指導する手がかりとなる。 19
- オ 教育は数量的に計測することだけではないのでいい。 7
- カ その他 1

問7 学習指導を進めていく上で、特に問題と考えられるものを次の中から3つまで選んで下さい。

- ア 指導内容が多く、指導上の負担になっている。 17
- イ 教科書の内容が量的に多いため、指導時間が不足しがち。 28
- ウ 教材研究や授業準備の時間が十分とれない。 75
- エ 親の期待が子供の負担を大きくし、学習意欲を低下させている。 9
- オ 教師と生徒との信頼関係が十分でない。 8
- カ 教師としての経験が不足しているため、生徒の掌握に問題がある。 8
- キ 生徒の実態の把握が困難である。 7
- ク 基礎・基本を明確にすることがむずかしい。 19
- ケ 進路指導を進める上での資料がたりない。 0
- コ 生徒の学習訓練が不十分である。 54
- サ 学習の評価についての理解がたりない。 9
- シ 個別指導が難しい。 47
- ス その他 5

(生徒用)

問1 教育目標は、こんな生徒になって欲しいという願いがこめられた大切な目標です。あなたの学校の教育目標について次の